

# 第15回 ICA 大会における ICA/SPA 専門家団体部会参加報告 (その2)

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会  
副会長 小川千代子 (国際資料研究所)

## ICA<sup>(1)</sup>/SPA<sup>(2)</sup>運営委員会記録について

全史料協『会報』第70号 (前号、2005年1月発行)では、参加報告の「参考2」としてICA/SPA総会の記録をとりあげた。今回は、第15回ICA大会会期中に開催された2回のSPA運営委員会の記録をとりあげる。

2004年8月23日分は2000-2004期最後の委員会記録(資料1)で、ここにはSAE<sup>(3)</sup>教育研修部会メンバーの参加もあった。この中で2000-2004期運営委員会の総括と、次期運営委員会の準備を行っている。

2004年8月27日分(資料2)は2004-2008期運営委員会の初会合で、8月23日午後開催された。SPA総会を受け、新SPA会長ディディエ・グランジュのもとで開催された。話題の中心は、向こう4年間の活動計画であった。

なお、前号掲載の「参考2」も含め、資料は

ICA/SPA事務局作成の英文記録を小川が翻訳したものである。

## 注

- |                 |            |
|-----------------|------------|
| 1p (1)ICA       | ……国際文書館評議会 |
| (2)ICA/SPA……    | ♪ 専門家団体部会  |
| (3)ICA/SAE……    | ♪ 教育研修部会   |
| 2p (4)ICA/CPT…… | ♪ 専門研修委員会  |

<資料1 8月23日SPA運営委員会記録>

International Council On  
Archives/Section for Records  
Management and Archival  
Professional Associations



Conseil International des  
Archives/  
Section des Associations  
Professionnelles de Records  
Management et d' Archivistique

Secretary/Secrétaire: Kathryn Dan, Records and Archives, Monash University,  
Clayton, Victoria 3088, AUSTRALIA. Tel: 61 3 9905 2074. Fax: 61 3 9905 3884.  
e-mail: kathryn.dan@adm.monash.edu.au

**Draft minutes of the 2000-2004 SPA Steering Committee meeting**

**23 August 2004, Vienna, Austria**

**SPA2000-2004運営委員会要旨(案)**

**オーストリア・ウィーン、2004.8.23**

出席者：マーガレット・ターナー（会長、UK）、アルフレッド・ガルシア（副会長、スペイン・カタ  
ルニア）、キャサリン・ダン（事務局、オーストラリア）、ディディエ・グランジュ（副事務局、スイ  
ス）、カレン・ベネディクト（米）、小川千代子（日本）、アンリ・ズバル（フランス）、ジル・レサー  
ジュ（カナダ）、ピーター・ハーマン（ARMA）、イザベラ・オルフィチェ（イタリア）、チャール  
ズ・ノルダム（オランダ）、ヴラディスラウ・ステプニアク（ポーランド）<以上委員会メンバー>、  
他にICA/SAEからカレン・アンダーソン、ハンス・ショイルコゲル、カール・ウーデが加わり、議  
題3.5,4.1,5.1を審議。

1. 議事運営

1.1 審議事項の確認、

1.2 前回会議要旨(パリ、2004年3月)の確認

(2.4)パリ事務局からICA個人会員加盟呼びかけを、専門家団体を通じて促進することについて提  
案があり了承された。

(3.6)イサベラから、CPT<sup>(4)</sup>とのかかわりにつき報告があった。SPA運営委員会としては新CPT及  
び新SAEとの協力継続が必要であると述べた。

(4.2)マーガレットから、欧州アーカイブ会議の計画に関してマルティヌ・ドボワドゥフレ及び  
ダリア・ナレチと協議したことが報告された。この協議の中で、イサベラ・オルフィチェが、前

回会議のオーガナイザーの立場で準備委員会に加えられることを確認した。

### 1.3 次期2004-2008任期運営委員会メンバーの選出

マーガレット・ターナーは、次期運営委員会メンバー候補者につき、報告を行った。

新メンバー：ホアン・ボアダシラセット(スペイン・カタルニア)、コンチェッタ・ダミアニ(イタリア)、ブレント・フレデリクソン(スウェーデン)、ミケル・ヘンキン(イスラエル)、トルディ・ハスキャン・ピーターソン(米、公認アーキビストアカデミー)、コリン・マケイン(オーストラリア)、ラウラ・ガブリエラ・サラザール(メキシコ)、パトリシア・スリーマン(英)、ワルデマール・ショラシテウスキー(ポーランド)

継続メンバー：ディディエ・グランジュ(スイス)、ジル・レサージュ(カナダ)、ピーター・ハーマン(ARMA、米)、チャールズ・ノルダム(オランダ)、小川千代子(日本)、アンリ・ズバル(フランス)

### 1.4 2004年大会—SPAセッション

マーガレットから、セッションの構成につき説明。チャールズは、この大会セッションの結果報告をSPAウェブサイトに掲載してはどうかとの提案があった。

アクション：SPA大会セッション報告をウェブサイトに掲載予定。

## 2. 報告事項

### 2.1 執行委員会

マーガレット・ターナーは、マドリッド及びウィーンで開催された執行委員会における主な項目について報告した：

人権問題ワーキンググループは、アーカイブのための人権賞の設定を提案し、これについてはSPAとともに検討を継続することとなった

総会では、規約改定の第2案が提案される。これが採択されると、SPAを含む全部会は、3以上の地域からの代表を擁していれば、執行委員会のメンバーとなる。この新規約が採択されると、すべての部会、委員会は、パリ事務局が行うチェックに従い、団体の条文見直しをする必要が生じる。

北アメリカ地域支部NAANICAが設立されることになった。

機関誌コンマ原住民特集号が賞をうけた

会計役のレオポルド・カンマーホファは2004年12月に退任、後任は未定。アイスランド国立公文書館は、カテゴリーBメンバーの経理援助財源を支給した。これはディディエ・グランジュがメンバーに加わるワーキンググループで確認する。ICAは、現在の収支状況を乗り切るため積立金を考えている。

## 3. プロジェクト

### 3.1 倫理綱領の翻訳

これまでに作成された翻訳はすべてICA/SPAウェブサイトロードした。SPA傘下に倫理に関するワーキンググループを創設することは、総会に提案予定。WGメンバーは、イボンヌ・ボシュロップ、カレン・ベネディクト、マーガレット・ターナー。

### 3.2 SPA会員増強

#### 3.2.1 ICAスタンド

この大会期間中、火曜日と水曜日の当番時間にSPAとしてICAスタンドに人を常駐させる。

#### 3.2.2 パンフレット

ICAスタンドに、各国語で作成したSPAのパンフレットのコピーを準備する。ICAから印刷費が出る。ARMAが印刷事務およびSPAメンバー並びにICA地域支部宛の発送を行う。

アクション：パンフレットの印刷と発送—新運営委員会

### 3.3 SPAウェブページ

ウェブの更新は、データベースのセキュリティ対策ができるまでは、ICAパリオフィスで一本化して行う。SPAとしては、ウェブサイト用の資料コーディネータを決める必要がある。新メンバーのパトリシア・スリーマンが引き受けてくれるだろう。新委員会での検討を要す。

アクション：ウェブ・コーディネータの指名—新運営委員会

### 3.4 アーカイブの団結プロジェクト

ナンシー・マレリの報告書が提出された。120件のプロジェクトをリストアップしたデータベースは、コンコルディア大学がまとめたもの。データベースの場所を提供してくれたコンコルディア大学およびこのプロジェクトに費やされたナンシー・マレリとワーキンググループによる膨大な作業に、運営委員会は記して謝意を表す。

運営委員会は報告書にある勧告を受け入れた。フランスアーキビスト協会がアーカイブの団結グループに今後継続して関与するのがよい、可能であれば世界中から代表を集めるのがよい、とされた。新運営委員会は、ASGの議長の指名について見当すること。

ツール制作の目的が支持を得て、この作業の基盤形成のために、現存ツールがあるかもしれないとされた。

アクション：新規アーカイブの団結グループ形成—新運営委員会

### 3.5 アーキビスト認定

本件は新運営委員会の中心プロジェクトとなろう。SAE,CPTとの継続協力は非常に重要。

新委員会メンバーのコンセッタ・ダミアニと、コリン・マケウインにこれを担当してもらえられる。イサベラ・オルフィチェは必ずこれについて連絡を取り続ける。

SAEのカレン・アンダーソンは、SAEの活動について述べ、SAE教育研修ディレクトリのCD-ROM版コピーを配布した。SAE地域会議の実施について言及した。SAEではI-CHORA会議(2005年9月1-3日、アムステルダム)の直前に、地域会議および運営委員会の開催を検討している。SAEでは、SPA

とは共通課題につき協力していきたいと考えている。

#### 4. 会議

##### 4.1 ARMA/ICA会議

###### シンガポール

ピーターから、2005年11月にシンガポールで会議開催を計画中であると報告があった。

シンガポールのSAE次期委員会メンバーと連絡を取っている。詳細は追ってピーターが次期SPA委員会に報告する。

アクション：会議に関する報告—ピーター

###### ラテンアメリカ

2006年にパンアメリカン会議の計画がある。SAEはこの件につきアルゼンチンのメンバーと連絡を取りたいと考えている。

##### 4.2 欧州アーカイブ会議

ウラディスラウがこの件につき会議準備のための年次代表者会で報告する見込み。

#### 5. その他

##### 5.1 イタリアのアーカイブその後

イサベラからその後の展開とともに、今大会でイタリアの現状を訴えるべく、イタリアアーキビスト協会機関誌が特集号を発行し、配布する旨報告があった。イサベラはこの件につき、SPA代表者総会で説明する。

#### 6. 次回会合

この会議は2000-2004任期運営委員会の最終会合である。マーガレット・ターナーは、今期で引退する委員を始め、全委員に対しこれまでの労をねぎらった。2004-2008任期運営委員会は8月27日に開催する。

#### ACTION LIST アクション・リスト

SC：運営委員会

項目	アクション	Who 担当者	メ 切
1.4	SPA大会セッション報告をウェブサイトに掲載	未定	至急
3.2.2	パンフレットの印刷・発送	ARMA、次期SC	
3.3	ウェブコーディネーター指名	次期SC	
3.4	新アーカイブの団結グループの結成	次期SC	
4.1	会議に関する報告	ピーター	次期SC会合

International Council On  
Archives  
Section for Professional  
Associations



Conseil International des  
Archives  
Section des Associations  
Professionnelles d' Archivistes

Secretary/Secrétaire: Gilles Lesage, La Societe historique de Saint-Boniface, 340, boulevard Provencher, Winnipeg, Manitoba, R2H 0G7, Canada. e-mail: glesage@shsb.mb.ca

**2004-2008 S P A 運営委員会(S C)記録(案)**

ウィーン、2004年 8 月27日

出席者:ディディエ・グランジュ (会長、スイス)、アンリ・ズバル (副会長、フランス)、ジル・レサージュ (事務局、カナダ)、小川千代子 (日本)、トルデイ・ハスカンプ・ピーターソン (USA)、ローラ・ガブリエラ・サラザール (メキシコ)、ホアン・ボアダス・イ・ラセット (スペイン・カタルニア)、ワルデマル・ショラジチュウスキ (ポーランド)、プレント・フレデリクソン (スウェーデン)、ミハル・ヘンキン (イスラエル)、ピーター・ハーマン (ARMA)、C.G.M. ノルダム (オランダ)

欠席者: コンチュッタ・ダミアニ (イタリア)、コリン・マケイン (オーストラリア)、パトリシア・スリーマン (英国)

**1 WELCOME 開会挨拶**

ディディエ・グランジュが2004-2008新 S P A 運営委員会メンバーを歓迎した。各メンバーは自己紹介を行った。

**ROUTINE MATTERS AND ADMINISTRATION 通常事項・運営**

**1.1 General committee information 委員会情報一般**

ディディエ・グランジュは、運営委員会の構成と活動の基本情報を述べた。彼は、運営委員会のメンバーの人数15名とは、ICAの規則および規制の下で認められた最大であることを示した。これは前運営委員会に比べ2人のメンバーの増加である。運営委員会は、通常年2回の会合を行う。ひとつは秋の円卓会議会期中に開催し、もう一回は春に開催する。春の会議は、時間をかけて S P A の活動を考えるため、最も重要な会議である。秋の円卓会議での会合は、S P A 代表者会で、ここには報告が提出される。会合の議事録は公用語であるフランス語と英語で作成される。SPAのウェブサイトは、過去数年に関する代表者会報告書および過去4年の分が掲載されている。サイトはさらにSPAの規約および様々なSPAの出版物が掲載されている。

**2 STEERING COMMITTEE POSITIONS 運営委員会役員**

ディディエ・グランジュは、S P A 会長に立候補し、副会長にアンリ・ズバル、事務局にジル・レサージュを提案した。ジル・レサージュは任期が2005年で終了するので、交代する。現在、ウェブ担当者がいない。今年後半にはサイトに直接にアクセスし、サイトへ変更を直接加えることができるようにすべきである。そのためパトリシア・スリーマンがこの任に当たれるどうか打診する。

**3 PROJECTS プロジェクト**

**3.1 Projects to be completed 完結すべきプロジェクトについて**

ディディエ・グランジュは、ICAの新しいビジョンが採択され、これに沿って今後の S P A 活

動はこれまで以上にプロジェクトに重点が置かれることになることを示し、現在進行中の各プロジェクトの確認を行った。これらのプロジェクトはICAの4つの優先事項に該当しなければならない。ディディエは、4つのICA優先事項および4つの部門横断的プライオリティ軸をリストするシートを回覧した。このシートは、プロジェクトにつきICA承認を得る目的も組み込まれた形式となっている。

アクション：提出を希望するプロジェクトのリストを作成する必要がある。

ディディエ・グランジュは、さらに、グリーンブック<訳注：ICA総会資料を指す>が、SPAメンバーを77としていることに触れた。彼は、これがSKRメンバー(宗教アーカイブ団体)を含むことに注目した。ただし、SPAにSKRメンバーが含まれるのかどうかは明らかではない。ディディエは、さらにSPAに代表の有無を示す世界地図を回覧した。これは今後の会員増強活動に焦点を当てる資料である。

### 3.2 Archival Solidarity (AS) project - assistance to archivists in developing countriesアーカイブの結束(AS)プロジェクト 開発途上国のアーキビストへの援助

ディディエ・グランジュは、アーカイブの結束プロジェクトを概観した。ワーキンググループは次の5人のメンバーで構成する：マリオナ・コロミネス、ナンシー・マレリ、マーガレット・ターナー、ブルーノ・コレ、ベニー・ハスベル。報告書は最近のSPAの会合に提出された。

アクション：すべてのメンバー宛にアーカイブの結束報告書を配布する。

ディディエ・グランジュは、トルディ・ピーターソンがアーカイブの結束ワーキンググループをリードし、かつASワーキンググループと運営委員会との連絡を図る役割を引き受けたことを発表した。ディディエは、ASワーキンググループのこれまでのメンバーと連絡をとり、ワーキンググループの仕事を継続する意向があるかどうかを確認する。

アクション：前任ワーキンググループメンバーに対し、手紙で今後も継続的にASなどに参加する意思があるかどうかの意図を確認する。

次の4年間に、特定の目的および優先事項を定義する必要がある。報告書に盛り込まれた提案は、これに役立つであろう。

### 3.3 Certification of archivists アーキビストの認定

ディディエ・グランジュは、メンバー対象に行ったアンケートにはほとんどレスポンスが返されなかったことを報告した。SAEがこの問題についてSPAと共同のワーキンググループを組むことができる可能性があると言われた。出席メンバーからは、各国の最新状況につき短い報告が行われた。小川千代子、アンリ・ズバル、およびC.G.M.ノルダムは、この問題に取り組むことに合意した。コンチェッタ・ダミアニもこれに加わる可能性があるのではないかという示唆があった。

EURBICA(ICA欧州地域支部)でも、アーキビストの認定について取り上げ、それを優先事項であると確認しました。ホアン・ボアダス・イ・ラセットはEURBICAのメンバーで、この問題についてSPAとの連絡役の労をとる。公認レコード・マネージャー研究所<ICRM>へもこの問題に関し連絡を取るのとは有効であろうとされた。

### 3.4 Directory of associations 団体名鑑

ジル・レサージュは、世界中のアーキビスト団体のリストを集めていることを報告した。国によってはアーキビスト団体が多数存在する場合もあるし、そうした団体がまったく存在し

ない国があるなど、容易でない仕事である。まずは、より長期的のできるだけ多数の団体を収録する方向で、各国の全国団体を中心に拾って行く。このリストは、SPAの周知と会員増強に役立つであろう

アクション：リスト案を10月に配布

### 3.5 European Conference 2005 欧州アーカイブ会議2005

ディディエ・グランジュは、この件に関する会合が8月25日に開催され、次の人が参集したことを報告した:マルチヌ・ド・ボワスデフル、ダリア・ナレチ、イザベラ・オレフィチュ、ホアン・ボアダス・イ・ラセット、ヴァルデマル・ショラジチュウスキ、ディディエ・グランジュ、ジル・レサージュおよびアンリ・ズバル。会議は2005年5月17~20日、あるいは18~21日のいずれかの日程で、ポズナニで開催される予定。プログラム委員会にはクリスティーン・マルチネス、イザベラ・オレフィチュおよびホアン・ボアダス・イ・ラセットがメンバーに入ることが決定された。

会合の記録は配布済。

### 3.6 Promoting membership of SPA SPAメンバー増強について

ディディエ・グランジュは、先に配布済みの地図を示し、議論を開始した。彼は、この件に取り組むグループを作ることを提案した。春の会議で、この件についての促進計画を練ることとした。

ピーター・ハーマンは、パンフレット2000部を各言語で印刷することを約束した。印刷物は、パリ・オフィスにストックし、SPAの運営委員会および各地域支部で配布する。パンフレットの送り状も作成すべきであるとされた。

小川千代子はESTICA会議で、パンフレットをそこに参加者に配布することが可能。ローラ・ガブリエラ・サラザールはALAに連絡を取り、南アメリカの協会へのパンフレット配布に努力する。南東アジアは今後4年間のメンバー増強に関しては期待される目標であろうとされた。<結局小川千代子はEASTICA会議2004には参加せず。>

いくつかの協会が今組織されており、規約策定に関する情報を求めていることが報告された。ジョウン・ホアン・ボアダス・イ・ラセットは、関心を持つ向きはその団体の規約をジル・レサージュに送付し、ジルはそれらをウェブサイト上で見られるようにできるかを検討してはどうかと提案した。

アクション:ウェブサイトに掲載する情報として、ジル・レサージュのもとへ各団体規約のデジタル・データを送付する。

### 3.7 ARMA Conferences ARMA会議

ピーター・ハーマンは、2006年5月に予定しているサンノゼ、コスタリカ(未確定)会議、及び2005年11月予定のシンガポール会議のその後の進捗について報告した。

## 4 NEW PROJECTS 新規プロジェクト

### 4.1 Advocacy 広報宣伝

ディディエ・グランジュは、アーカイブの普及促進が重要なトピックで、それが機関および人々公を対象とするべきであるとした。この問題に関する既存調査を把握する必要がある。英国国立公文書館はとてもよいパンフレットを作っていると報告があった。

この件を担当するメンバー:プレント・フレデリクソン、ミハル・ヘンキン、ピーター・ハ

ーマン、アンリ・ズバル。パトリシア・スリーマンとコリン・マケインもこれに関心を示すかもしれないとされた。

#### 4.2 European Inter-association ヨーロッパのアーカイブ協会横断組織

アンリ・ズバルは、フランス・アーキビスト協会が音頭をとってヨーロッパのアーカイブ協会横断組織を作ろうとしている背景情報とその手順について述べた。彼は、これに関する概略情報の資料を回覧した。フランスとスペインはこの提案の支持を表明し、他の国々へもその支持を求めて提示されることとなる。この企画の基本目的とは、共通の展望のなかで、アーキビストの使命を統合することにある。

トルディ・ピーターソンは、アーカイブ・プロジェクトの評価は重要な問題のひとつであり、ジャック・グリマルが、この件についての研究を始めていると述べた。

#### 4.3 Human Rights 人権問題

ディディエ・グランジュは、多くのイニシアチブ（特に8）を実現するためにペリーヌ・カナバジオとクリスティーヌ・マルチネスがワーキンググループの設置を提案したことを告げた。資金調達の申請をユネスコに提出する予定。

提案したプロジェクトの1つはアーカイブと人権に対する賞の創設です。ICAが賞を与えるためには権限を持たないので、SPAがこの賞の授与を担当する委員会となることが考えられる。人権の分野での重要な人物にちなんで賞の名称を決めるための調査が始まっている。ネルソン・マンデラの名前が出された。

この問題でのSPAの役割を明確にする必要がある。

アクション:アンリ・ズバルはワーキンググループと連絡をとりこの件を確認する。

#### 4.4 Working group on ethical issues 倫理綱領に関するワーキンググループ

ディディエ・グランジュは、この件の背景情報を報告した。倫理綱領の促進についての障害克服のため、この件につきアーキビストの経験に近づけるためには、ワーキンググループは各国からの多くの事例研究を収集することが大切であると考えられる。

SPAとしては、このグループとどのような関係を取り結ぶのか調査する必要がある。今後のアクションは、総会の結果に如何による。

#### 4.5 Data protection 個人情報保護問題

ブレント・フレデリクソンは、SPAのプロジェクトとしてデータ保護<個人情報保護>問題とヨーロッパ方式の結果についての調査を行うことを提案した。

ブレント・フレデリクソンはクリスティーヌ・マルチネスと接触し、この件に関するプロジェクト展開方法を検討する。

トルディ・ピーターソンは、スーザン・ヒーリイが国際条約がアーカイブに及ぼす影響を研究している可能性があるため、この件で彼女と連絡をとることが有用だろうと述べた。

アクション:ブレント・フレデリクソンは、次の会合で議論される提案を策定する。

#### 5 本委員会の業務

ディディエ・グランジュは、前出の各タスクの割当てが決められており、会合の間に議論したという事実を強調した。次のSPAの会までに、担当者は担当業務をしかるべく進捗させる

必要がある。これにより、今後の会合では情報交換し、成果報告提出、意思決定を行う場としたい。次回の議題は、なるべく早く送付し、これに対して可能な限り多くの報告や情報交換、意思決定が行えるようにしたい。

その他次のポイントについて指摘があった。デイディエ・グランジュはフランス語のロビー活動をするガイドを翻訳したが、なぜかこれがウェブサイトに置かれていないので、その理由を調査する。アーキビストの倫理綱領の翻訳は進行中。さらに、SPAのパンフレットに添付する手紙の翻訳を行う必要がある。アンリ・ズバル、国際会議開催のためのガイドがフランス語訳ができていると思われるので、これもウェブサイトに置かれるべきであるとした。

## 6 次回会議

次回運営委員会はスペイン・カタルニアで2005年4月に開催する。

### ACTION LIST アクション・リスト

Item 項目	Action アクション	Who 担当者	Due date 〆切
2	パトリシア・スリーマンにウェブマスタ担当してくれるか聞く	デイディエ	
3.1	I C Aに提出するプロジェクトリスト作成	デイディエ、 アンリ、ジル	11月1日
3.2	アーカイブの団結報告書をSPAメンバーに配布	ジル	
3.2	アーカイブの団結WG旧メンバーに委員会メンバー更新お知らせ手紙を出す	デイディエ	
3.3	アーキビスト認定WGについてSAEに連絡		
3.4	アーキビスト団体リストの作成	ジル	10月
3.5	欧州アーキビスト会議プログラム委員会設立		
3.6	SPAパンフレット印刷	ピーター	
3.6	アーキビスト団体規約をジルに送る	全員	
4.3	人権団体WGに連絡、確認	アンリ	
4.5	データ保護に関するプロジェクト提案策定	プレント	4月会議
5	ロビーガイドのフランス語版、SPA Webに掲載したか確認	デイディエ	
5	倫理綱領の翻訳把握	全員	進行中
5	パンフレット送付状翻訳把握	全員	進行中
5	SPA Webにフランス語版会議開催ガイド掲載の有無確認	アンリ	
6	次回	全員	2005年4月